

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
基準日	定時株主総会 12月31日
	期末配当 12月31日
	中間配当 6月30日
定時株主総会	毎年3月開催
単元株式数	100株

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同 郵 送 先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## 各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株）にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 株式に関するマイナンバー制度のご案内  
市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをご提供いただく必要があります。  
▶ 株式関係業務におけるマイナンバーの利用  
法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。  
【主な支払調書】・配当金に関する支払調書  
・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書  
▶ マイナンバーのご提供に関するお問い合わせ先  
証券会社の口座にて株式を管理されている株主様 ……お取引の証券会社にお申し出ください。  
証券会社とのお取引がない株主様 ……上記特別口座の管理機関（三菱UFJ信託銀行株）にお申し出ください。

## 今後のIRスケジュール IR SCHEDULE

2017年 11月上旬 2017年12月期  
第3四半期決算発表  
2018年 2月上旬 2017年12月期決算発表

※今後の予定につきましては、諸事情により日程変更となる場合もございますのであらかじめご了承の程お願い致します。

## ホームページのご案内

当社のグループホームページでは、IR情報や決算情報をはじめ、最新の事業動向をご覧いただけます。

IR情報

<http://www.hinokiya-group.jp/>

ヒノキヤグループ 検索



HINOKIYA

株式会社 桧家ホールディングス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館7階  
<http://www.hinokiya-holdings.jp>



VOC (揮発性有機化合物) 成分フリーのインキを使用して印刷しました。

第30期

# 中間報告書

2017.1.1 ▶ 2017.6.30

証券コード：1413

HINOKIYA



株式会社 桧家ホールディングス

## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループへのご理解とともに厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに当社グループ第30期 第2四半期（2017年6月中旬期）の営業概況ならびに事業内容をご報告させていただくために、中間報告書をお届けします。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 近藤 昭



目次	ごあいさつ	1
	業績ハイライト	2
	トップインタビュー	3
	セグメント情報	7
	TOPICS	9
	会社概要／株式の状況	10
	株主メモ／各種お手続きについて	裏表紙

## 業績ハイライト

売上高

43,367百万円

(前年同期比11.0%増)

営業利益

1,340百万円

(前年同期比6.9%減)

経常利益

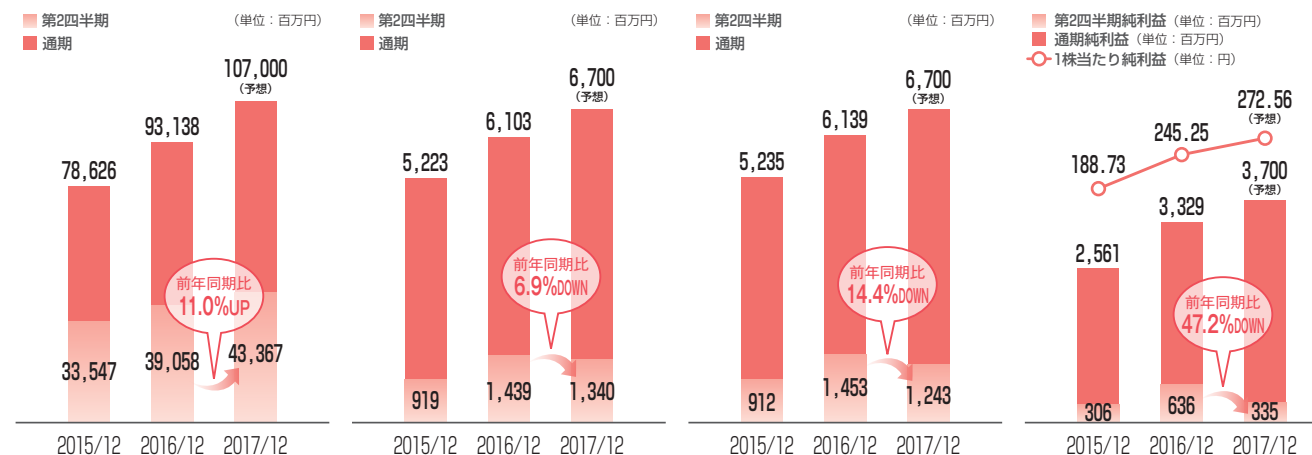
1,243百万円

(前年同期比14.4%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益

335百万円

(前年同期比47.2%減)



東証上場を機に、お客様のさらなる信頼に応える企業へ

おかげさまで当社は今年3月、東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。2007年に名古屋証券取引所市場第二部に株式上場してから今年でちょうど10年になります。かねてからの大きな目標であった東証上場を果たすことができた安堵感と企業としての責任の重みを強く感じているところです。東証上場により、お客様からの一層の信頼性向上に期待していると同時に、東証上場企業というステータスにふさわしい社会的責任を果たす企業を目指し、さらに気を引き締めてまいります。

2017年12月期第2四半期は2ケタ増収を達成。2017年12月期通期も好調を見込む

2017年12月期第2四半期の業績をセグメント別にみると、主力の注文住宅事業は、桧家ブランド、パパまるブランドともに完成引渡しが前年同期を上回って推移しました。不動産事業においては、フュージョン資産マネジメントによる収益物件販売及び桧家不動産の戸建分譲住宅販売が好調に推移しました。断熱材事業では、積極的な営業展開により、戸建住宅部門の受注が好調に推移しました。さらに、リフォーム事業、介護保育事業も増収増益を果たすなど、全てのセグメントにお



## トップインタビュー



多様な収益源を確立し、  
グループ力強化を図るとともに、  
社会的課題へ果敢にチャレンジして  
まいります。

いて増収を達成しました。しかしながら、利益面においては、昨年12月から販売開始した新商品「Z空調（ゼックウチョウ）」に関連した広告宣伝費、販売促進費の増加に加え、住宅展示場への新規出展費用や人員増加に伴う固定費の増加等により前年同期を下回りました。

以上の結果、2017年第2四半期は、売上高433億67百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益13億40百万円（前年同期比6.9%減）、経常利益12億43百万円（前年同期比14.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億35百万円（前年同期比47.2%減）となりました。

2017年12月期通期は、全てのブランドで「Z空調」の受注が好調に推移しており、注文住宅事業を中心に順調に推移する見通しで、売上高1,070億円（前期比14.9%増）、営業利益67億円（前期比9.8%増）、経常利益67億円（前期比9.1%増）、

親会社株主に帰属する当期純利益は37億円（前期比11.1%増）と増収増益を見込んでいます。

### 主力の注文住宅事業の好調が続く

昨年12月に“空調革命”と銘打って発売した「Z空調」が大きな反響をいただいています。

「Z空調」は、個別空調だと温度差が生じる廊下、玄関、トイレなども含め、エアコン2台で家全体を24時間365日一定温度に保つことができ、家中どこでも快適です。

ヒノキヤグループならではの外気の影響を少なくする建物の「断熱・気密技術」と、過ごしやすい室温に調整する「空調技術」、冷熱ロスを抑えてクリーンな空気を叶える「換気技術」を高いレベルで調和させました。

すでに「Z空調」を導入した住宅の引き渡しが始まっており、

実際に居住され、この夏を過ごされたお客様の口コミ効果も今後は期待できると考えています。

2020年までに年間1万棟の設置を目指しています。

グループの中では、低価格が特徴のパパまるハウスが非常に好調で、注文住宅事業の収益に貢献しています。パパまるブランドは低価格ながら、当社グループの傘下入りしたことで、「Z空調」や断熱材「アクアフォーム」などを導入した高性能な住宅を提供できるようになり、収益を拡大してきました。今後も積極的な出店攻勢を継続し、注文住宅事業をさらに牽引する見込みです。

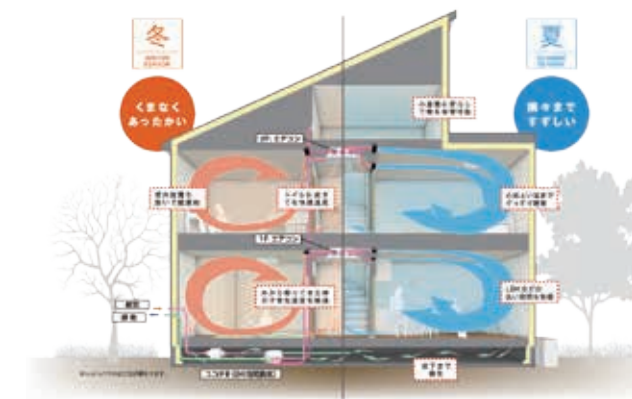
社会問題解決型の事業展開として、当社は今年3月、業界初の戸建壁貫通（戸建用ビルトイン）型宅配ボックス「留守番ポスト」を発売しました。近年、利便性の高い通販の市場拡大から宅配便の荷物量が急増し、大手宅配事業者が荷物の取扱量を抑制するなどの動きが出ています。この影響から、インターネット通販事業者が送料の見直しを余儀なくされるなど、社会問題につながっています。当社の戸建用ビルトイン型宅配ボックスは、捺印システムを内蔵しているため、留守中の荷物の受取りが可能であり、宅配事業者にとって大きな負担となっている再配達を依頼する必要がありません。ヒノキヤグループは今後もこうした様々な住宅設備の開発を通して、日本の抱える課題解決に取り組んでまいります。

### 断熱材事業も好調に推移

断熱材事業においては、昨年から本格的に自社原料での施工体制を確立し、さらには新たな商品開発や品質向上に向けたチェック体制の強化に取り組んでまいりました。断熱材事業

を手掛ける日本アクアは、環境に優しく優れた断熱性を発揮するウレタン断熱材市場全体が拡大する中、同業他社とは差別化された技術力が評価され、国内のウレタン断熱材市場において10%のシェアを握るトップ企業に成長し、当社グループの中でも収益の牽引役となっております。

また、グループ全体で環境負荷軽減への取り組みに力を入れている中、同社はウレタン廃材リサイクルの技術を業界で初めて確立させています。このほど産業廃棄物広域認定を取得し、「アクアプロー」として販売を開始しました。ウレタン断熱材の需要が拡大する中、産業廃棄物として廃棄されていたウレタン廃材を再利用することで、企業の社会的責任を果たすとともに、ビジネスとしての確立を目指しています。



空調革命「Z空調」

### 売上高1,000億円達成目前に

2015年12月期からスタートした中期経営計画では、2017年12月期に売上高1,000億円を目標として掲げ、この数値目標を達成するための事業戦略として、主力の注文住宅事業以外の

## トップインタビュー

多様な収益源を確立すべく様々な施策に取り組んでまいりました。企業としての大きな節目となる売上高1,000億円は何としても達成すべき数値目標であり、到達に向けた確かな手応えを感じています。

2020年を達成目標とする2020ビジョン「革新的な商品・サービスの提供と新たな事業領域への挑戦を通じて、持続的付加価値を創造し、ニッポンの抱える課題解決に貢献していきます。」は、当社の目指す企業姿勢を表現しています。わが国に山積する社会的課題に果敢に挑戦していくためには、革新的なソリューションを提供すると同時に、世の中にインパクトを与えることができる企業規模も必要であると考えます。

このことから売上高1,000億円の達成を新たなスタートラインととらえ、一層の収益力拡大を図ってまいります。

### 保育事業で新たな付加価値事業を展開

このほど、都内を中心に40カ所を超える保育園および学童施設等および10カ所の介護事業所を運営する当社連結子会社のライフサポートが埼玉県戸田市において外国人講師が作成した独自のカリキュラムに基づく英語教育による認可外保育施設の運営を行う株式会社PURE SOLUTIONSを子会社化しました。ライフサポートの運営する保育施設は自治体からの委託事業のため、国の政策等に大きく影響を受けます。介護保育事業の新たな事業戦略として、補助金収入に依存しないビジネスモデルの確立を模索していた当社にとって非常に有益と考え、M&Aを実施しました。

自治体からの委託事業は安定した補助金収入がある半面、規制が厳しいという一面があります。一方、PURE SOLUTIONS

の認可外保育施設では、自由な独自の教育プログラムを提供することができます。少子化の現在では、子供に早期から充実した教育を行いたいというニーズが高く、中でも英語教育への関心は非常に高いものがあります。こうしたニーズをとらえ、ライフサポートが運営する保育所の周辺で、学童も含めた英語プログラムの提供など新たな事業展開を図っていく考えです。

今後は、同社の信用力を背景にした自治体からの委託事業の維持拡大を図ると同時に、付加価値の高い認可外保育施設の増強を目指す両輪の事業戦略により、強固な事業基盤を築いてまいります。また、保育士の中には語学力のあるスタッフも存在し、こうしたスタッフのスキルアップやモチベーションの向上といった効果も期待しています。



ピュアイングリッシュ  
キンダーガーテン



### グローバル展開を視野に入れ、業容を拡大

当社はこのほど海外事業を推進する専門部署を設置し、本格的なグローバル展開に向けて準備を進めています。ベトナム現地法人を中核とした事業展開と同時に、海外からの人材の受け入れを積極的に行ってきました。ベトナムからの技能実習生を招いて大工職や介護職の研修や、フィリピンからの実習生に対する断熱施工の研修を行うなど、現地での活動に不可欠な技能の習得を支援しています。

将来的には、フィリピン、ミャンマー、タイなど東南アジアでの住宅需要に対応した事業展開を検討しています。これら東南アジア諸国においては、昨年3月、子会社化した鉄筋コンクリート住宅のパイオニアであるレスコハウスのWPC（壁式プレキャストコンクリートパネル）工法が活用できると考えています。WPC工法は耐震性、耐火性に優れた堅牢な構造に特徴があり、断熱性も高く、耐久性、経済性にも優れている点が強みです。東南アジア諸国では、まだPC工法がほとんど普及していませんが、潜在需要は高いと期待しています。本来、コンクリート住宅は万国共通の工法であり、東南アジアの住宅事情に応えることができる工法であると確信しています。近い将来の事業化を視野に入れて今後著しい成長が見込まれるアジア地域の市場調査を行っております。さらに、保育事業においても、英語圏ではない東南アジア諸国では、日本同様、幼少期からの英語教育への潜在需要があると考えます。国内で早期にノウハウを確立させ、アジア圏での展開を目指す方針です。

### さらなる成長を目指す

株主の皆様のご支援の結果、念願であった東証上場を果たすことができました。心よりお礼申し上げます。今後は、次の目標である東証一部上場に向けて邁進してまいります。当社グループはこれまでM&Aによって成長を遂げてきました。これらの企業がヒノキヤグループの一員となることで、互いの強みを生かした商品開発やサービスの充実、より高度なソリューション提案などを可能にしています。今後もM&Aを継続することで、傘下企業の収益貢献とともに、既存事業とのシナジー効果を高めることで、一層のグループ力強化を図ってまいります。

株主の皆様には、当社グループの成長にご期待いただくとともに、さらなるご支援をいただきますよう何卒よろしくご願ひ申し上げます。





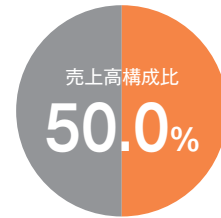
# セグメント情報

## 注文住宅事業



売上高  
**217億20**百万円  
前年同期比+5.8% ↑

営業利益  
**1億98**百万円  
前年同期比-42.4% ↓



主な関係会社

- ・(株)桧家住宅 各社
- ・(株)パパまるハウス
- ・レスコハウス(株)

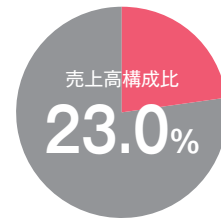
- ・Hinokiya Vietnam Co., Ltd.
- ・(株)桧家ホールディングス

## 不動産事業



売上高  
**100億7**百万円  
前年同期比+16.9% ↑

営業利益  
**3億55**百万円  
前年同期比-0.2% ↓



主な関係会社

- ・(株)桧家不動産
- ・フュージョン資産マネジメント(株)
- ・(株)パパまるハウス

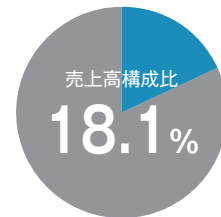
- ・(株)桧家住宅 各社
- ・レスコハウス(株)
- ・(株)桧家ホールディングス

## 断熱材事業



売上高  
**83億83**百万円  
前年同期比+18.7% ↑

営業利益  
**5億94**百万円  
前年同期比+9.9% ↑



主な関係会社

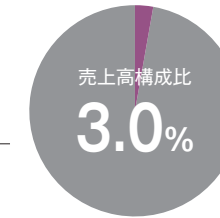
- ・(株)日本アクア

## リフォーム事業



売上高  
**15億91**百万円  
前年同期比+17.8% ↑

営業利益  
**1億31**百万円  
前年同期比+29.7% ↑



主な関係会社

- ・(株)桧家リフォーム

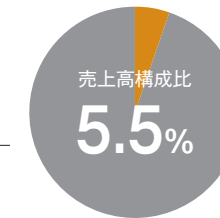
- ・レスコハウス(株)

## 介護保育事業



売上高  
**23億65**百万円  
前年同期比+7.5% ↑

営業利益  
**1億12**百万円  
前年同期比+33.6% ↑



主な関係会社

- ・ライフサポート(株)
- ・(株)PURE SOLUTIONS

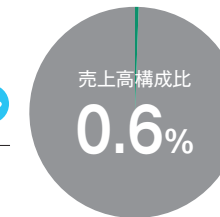
- ・(株)桧家不動産

## その他事業



売上高  
**10億54**百万円  
前年同期比+8.2% ↑

営業損失  
**52**百万円  
前年同期は営業利益10百万円 ↓



主な関係会社

- ・(株)桧家ホールディングス

※P7-8の売上高構成比のグラフはグループ外向けのみを表記しております。

# TOPICS

## Z空調体感ツアーを開催しました。

2016年12月に発売した「Z空調」の体感イベント「Z空調体感ツアー」を開催しました。2月に279組、7月、8月に388組とたくさんのお客様が参加し、Z空調を搭載した戸建分譲住宅「街スマ」のほか、現場発泡断熱材「アクアフォーム」の吹き付け施工が終わったばかりの建設現場、実際に住まわれている引渡後のお宅をバスで回り、「Z空調」のしくみや、実際の住み心地を体感されました。参加された皆様より、『建設中の家でもすごくあたたかく感動した』、『住まわれている方の声が聞けて非常に参考になった』など、多くの感想をお寄せいただき、大盛況のうちに終了しました。



## 東京証券取引所市場第二部に上場しました。

当社は、2017年3月22日に東京証券取引所市場第二部に上場しました。

これもひとえに、株主の皆様をはじめ、関係者の皆様の温かいご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

今後も株主の皆様のご期待にお応えすべく、業容の拡大と企業価値の向上を目指す所存でございますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 会社概要 (2017年6月30日現在)

**社名** 株式会社松家ホールディングス  
**本社事務所** 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号  
 丸の内トラストタワー本館7階  
**設立** 1988年10月13日  
**資本金** 3億8,990万円  
**従業員数** 連結2,514名  
**事業内容** 注文住宅事業／不動産事業／断熱材事業／介護保育事業／不動産賃貸事業／賃貸住宅請負事業／FC事業／リフォーム・外構事業／資産コンサルティング事業 他

### 役員

代表取締役会長 **黒須 新治郎**  
 代表取締役社長 **近藤 昭**  
 取締役 **荒木 伸介**  
 取締役 **常住 順一**  
 取締役 **島田 幸雄**  
 社外取締役 **出口 俊一**  
 社外取締役 **片山 雅也**  
 常勤監査役 **長谷 忠宏**  
 常勤監査役 **篠崎 良吉**  
 社外監査役 **長谷川 臣介**  
 社外監査役 **長澤 正浩**

### グループ会社

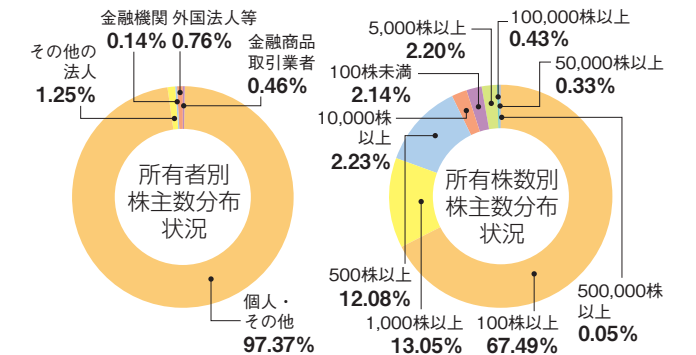
- (株)松家ホールディングス**
  - 注文住宅事業
    - (株)松家住宅
    - (株)松家住宅北関東
    - (株)松家住宅東京
    - (株)松家住宅上信越
    - (株)松家住宅東北
    - (株)ババまるハウス
    - レスコハウス(株)
    - Hinokiya Vietnam Co., Ltd. (松家ベトナム)
  - 不動産事業
    - (株)松家不動産
    - フュージョン資産マネジメント(株)
    - (株)不動産流通システム
  - 断熱材事業
    - (株)日本アクア
    - AQUAFOAM ASIA ASSOCIATES INC.
  - リフォーム事業
    - (株)松家リフォーム
  - 介護保育事業
    - ライフサポート(株)
    - (株)リビングケア研究所
    - (株)PURE SOLUTIONS
  - その他事業
    - (株)HOUSALL

## 株式の状況 (2017年6月30日現在)

**発行可能株式総数** 48,300,000株  
**発行済株式の総数** 13,575,000株  
**株主数** 3,685名  
**大株主**

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社GSK	5,275,000	38.85
永大産業株式会社	600,000	4.41
松家ホールディングス従業員持株会	324,300	2.38
松家ホールディングス取引先持株会	316,700	2.33
近藤昭	289,700	2.13
日本証券金融株式会社	269,300	1.98
加藤まゆみ	240,000	1.76
近藤治恵	240,000	1.76
株式会社三菱東京UFJ銀行	180,000	1.32
黒須新治郎	165,000	1.21

### 分布状況



### 1株あたりの年間配当額の状況

	2016年12月期	2017年12月期
中間	30円00銭	45円00銭
期末	30円00銭	35円00銭(予想)
合計	60円00銭	80円00銭(予想)